

バッグ用接着芯の貼り方



なぜ接着芯を貼るの？

- ①接着芯を貼ることによって厚みやハリ感を持たせることができます。
- ②型崩れやシワを防ぐ事ができます。

バッグ用接着芯の種類

ソフト…生地風の風合いを生かしたソフトな仕上がりです。
ミディアム…厚みやしっかり感が出ます。
ハード…ミディアムよりも更に厚みやしっかり感を出し、硬さを出したいデザインに向いています。



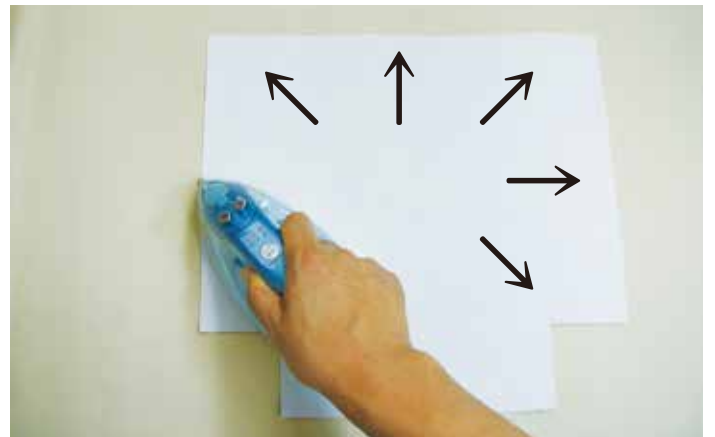
- ①表地を型紙通りに裁断します（縫い代を付ける）
接着芯を表地と同じ大きさに裁断します。



- ②接着芯の、のりが付いている面を生地の裏側に当て
図のように接着芯を上にしてドライアイロンで
接着させます。※中温(140~160°)



- ③接着芯と生地がずれないように、中心から接着させていきます。



- ④中心を接着したら中央から外に向かって接着します。
その際も③のように滑らさずに固定して接着します。

アイロンの使い方のポイント

アイロンを動かさずに10~15秒圧力をかけて接着させます。

滑らすと接着芯と生地がずれて、ヨれてしまったり、接着にムラが出来て剥がれやすくなる場合があるので、滑らさずに固定することがポイントです。ハードタイプは熱が伝わりにくいので、強めに圧力をかけます。

- ⑤全体に貼れたら、温度が冷めるまで動かさずそのままにしておきます。目安は5~10分くらいです。
※温度が下がる前に動かしてしまうと剥がれやすくなったり、型が崩れてしまう場合があるので注意して下さい。